

TO THE NEXT STAGE

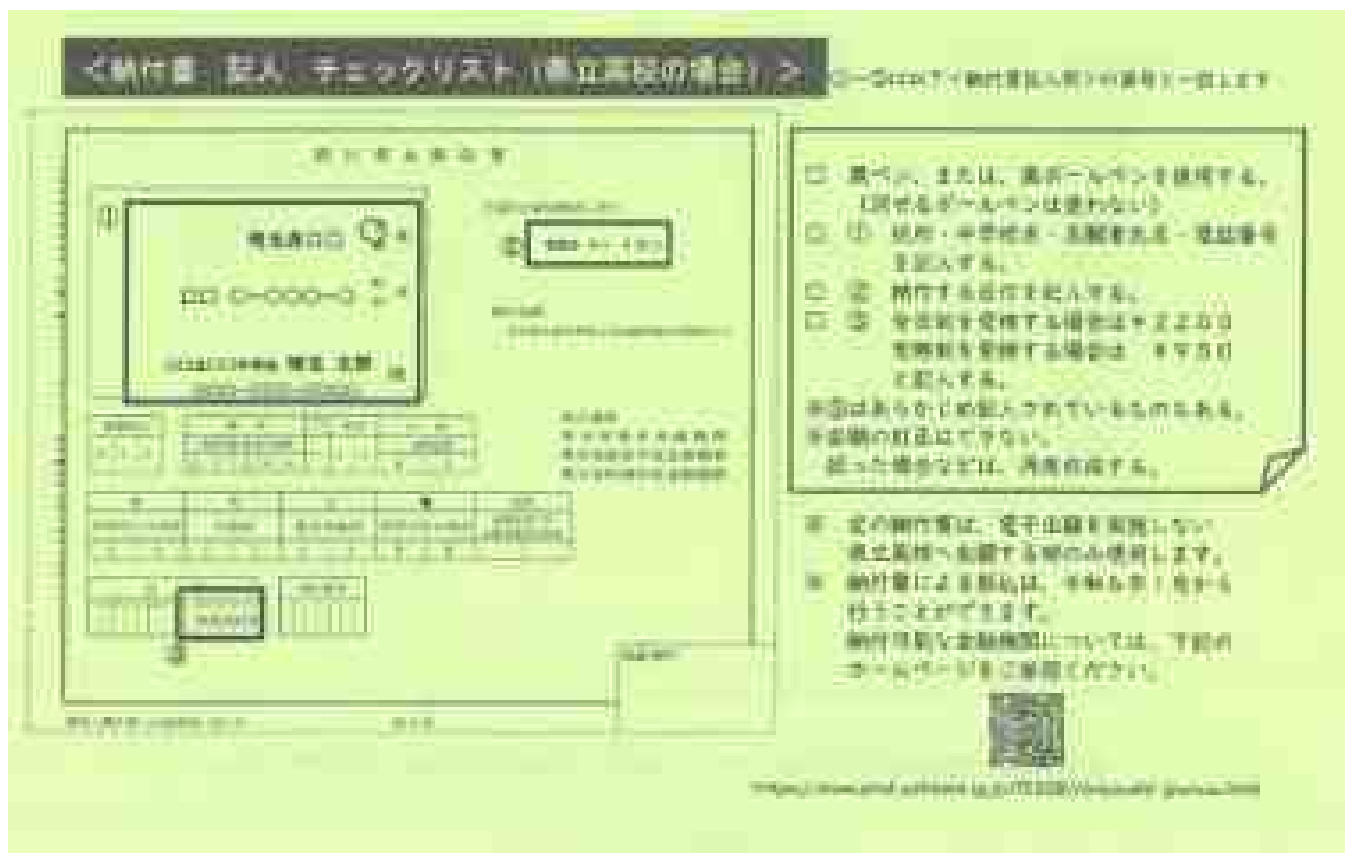
狭山市立中央中学校
進路だより 第11号
令和6年1月11日(木)

偶然ですが「1」が並びました！

県立・市立高校の受検料納付について

明けましておめでとうございます！ 新しい年となりました。いよいよ私立高校の受験が始まります。私立高校を第1志望にしている生徒も、第2志望にしている生徒にとっても、本格的な受験の始まりです。身の引き締まる思いですね。

さて中学校では学活を利用して、県公立高校の願書を書く学習を、1月26日(金)に行う予定です。それに合わせて各ご家庭で受検料の納付をお願いいたします。下は県立高校用の受検料の納付書兼領収書の記入例です。



実際の納付書は3枚一組で、カーボン複写になっています。必要な部分の記入は、生徒本人が学校で行いますので、ご家庭では受検料と一緒にこの用紙を金融機関へ持って行き、②の納付するその日の日付を記入して、納付してください。その際必ず領収書を受け取り、ご家庭で保管をお願いします。

また併せて受検票に貼付する切手(223円分)の購入も早めにご用意ください。

最終的な願書の提出締め切りは**1月30日(火)**です。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお願書提出までの主な日程について、必ず裏面をご確認ください。

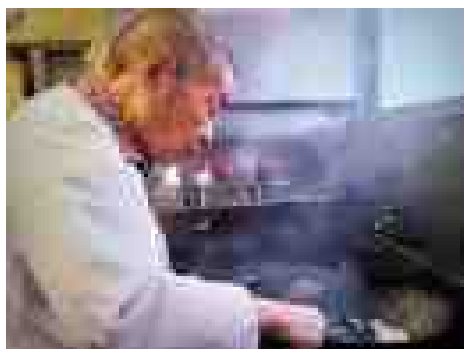
願書提出までの主な日程

1月15日(月)	納付書兼領収書を記入し、家庭へ持ち帰ります。
1月15日(月) ～1月26日(金)	各家庭で受検料を納付してください。全日制は2200円、定時制は950円です。領収書を必ず受け取り、家庭で保管してください。切手(223円分)の購入も済ませておいてください。
1月26日(金)	願書および受検票に必要事項を記入し、家庭へ持ち帰ります。
1月26日(金) ～1月30日(火)	各家庭で願書の保護者記入部分に必要事項を記入し、裏面に受検料納付時の領収書を、受検票の宛名面に切手を貼付し、担任に提出します。締め切りは1月30日(火)です。

進路の先にあるもの その8～仕事大好き！～

最近ニュースで「せんべろ(千円でべろべろに酔える)の街」として有名な葛飾区たていしの「立石のんべえ横丁」が、ずいぶん様変わりしてしまったと聞きました。昔からあるお店がどんどん減っていているらしいのです。時代の流れなのかなと思います。少し寂しい気がします。

この立石あおとや青砥はなちやの近くに「お花茶屋」というかわいい名前の駅があります。ここには多くの町中華があります。前にもお話ししたとおり、私(本橋)は食べ物と言えばお子様メニューが大好きで、散歩途中で洋食屋や町中華が目に入ると、つい立ち寄りたくなってしまいます。このお花茶屋周辺で特に立ち寄りたくなる中華屋さんに「みとや」というお店があります。創業は1964年(昭和39年)ですから、東京オリンピックの年ですね。ご主人は高林松美さん84歳。いつもにこにこ、気さくなお人柄で、お客さんにも気軽に声をかけてくれます。高林さんは中学卒業後、15歳からお兄さんが経営する中華の店で10年間修業し、25歳で結婚。



それを機に、念願のお店をこのお花茶屋の地に開きました。以来約60年間変わらぬ味を提供し、地元の人たちを中心に舌を楽しませてくれています。料理はなにを食べてもおいしいのですが、どの料理の作り方も味も昔から変えていないそうです。

高林さんに何歳までこの仕事を続けますかと尋ねると、

「できる限り続けるよ。この仕事が好きだから。料理を作ることしか考えてないから。あと10年、いや20年は働かないとね。」とにこやかに答えてくれます。私はこの高林さんの仕事に対する姿勢や言葉、そして人としての生き方そのものに敬服し、感動を覚えます。そしてえもいわれぬ幸福感を覚え、自分ももっとがんばろうと思うのです。

結婚以来いつもお店を切り盛りしている同い年の奥様と二人三脚で、高林さんは今日も中華鍋を振り続けています。



新婚、開店当時の写真